

恋する看板物語

恋する看板物語とは

いつも目にするさまざまなサイン。

新しくつくられ、時とともに景色の一つとなり、そして生まれ変わっていく。

まるで人の一生と同じだと思いませんか？

私たちは、看板のはじまりから終わりまで、物語を紡いでいきます。

誕生編



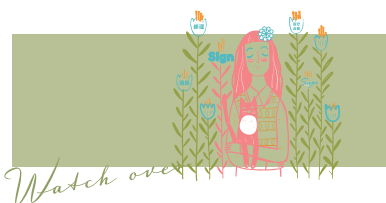
想いが形になって
看板は生まれます。

街を歩けばそこかしこにある看板。「ここにいるよ」「こっちにおいで」「君に知ってもらいたいコトがあるんだ」「そこは危険だよ」。どんなに大切なことも伝えなければ伝わらないから。通りゆくあの人に、立ち止まる私に、そして大切なあなたに、伝えたいコトがある。看板はその想いから生まれます。

誕生編を読む



みまもり編



大切にみまもることで
看板は輝き続けます。

雨に打たれたり、風に吹かれたり、時には自らの重みが負担になることもあるけれど、大切に見守ってあげることで、今日も精一杯看板は想いを伝えます。きっとその想いは届きますよ。だって看板を見守ることは、届けない想いを見守ることだから。

みまもり編を読む



おわかれ編



愛された看板だから
お別れもきれいに。

時が流れて、いつかはサヨナラがやってくる。また新たな想いを伝えるために。風景の一部として、街に人に愛されてきた看板。持ち主がいなくなってそのまま捨て置かれるままになっている看板。でも大丈夫。全ての看板は、大切な想いを持って生まれてきた看板だから、看板屋さんはお別れする時も大切にします。

おわかれ編を読む



 U-NEXUS
株式会社ユーネクサス

<http://www.u-nexus.co.jp>